

熊本県立装飾古墳館ホームページウェブアクセシビリティ対応再構築等業務委託仕様書

1 業務名

熊本県立装飾古墳館ホームページウェブアクセシビリティ対応再構築等業務委託

2 目的

現行の2つのホームページ※は運用から15年以上を経過し、デザインやサイトの構成において最新性が薄れている。また、閲覧者の高度化・多様化するニーズへの対応及びウェブアクセシビリティやセキュリティレベル（常時SSL化）、サイト構成などシステム上の問題への対応が求められているほか、本ホームページに対する興味や関心、親しみを持ってもらえるコンテンツも不足しているものと分析している。

このような背景から、現行の2つのホームページをウェブアクセシビリティに対応することを主に再構築し、閲覧者が「装飾古墳」「鞠智城」をはじめとした本県の古代文化に関心を抱くコンテンツを充実させ、誰もが使いやすく見やすいホームページにすることを目的とする。

※「装飾古墳館」「歴史公園鞠智城・温故創生館」

3 業務委託の期間

契約締結の日から令和4年（2022年）3月31日（木）までとする。

本ホームページの公開は、令和4年（2022年）3月31日（木）を予定している。

4 委託業務

- (1) ホームページウェブアクセシビリティ対応再構築業務
- (2) マニュアルの作成
- (3) 操作研修の実施

5 ホームページ再構築業務

- (1) ドメインの移管
 - (ア) 装飾古墳館ホームページ (<https://kofunkan.pref.kumamoto.jp/>) は、装飾古墳館（以下「委託者」という。）が現在委託している事業者（以下「現受託事業者」という。）が運用・保守を行っているため、受託事業者（以下「受託者」という。）は、現受託事業者からドメインの移管作業を行う。
 - (イ) ドメイン移管後、既存ホームページ（構成要素：HTML / CSS / JavaScript / CGI）を基に、(2)～(10)の機能追加・再構築を行う。ただし、再構築するホームページの構成要素は既存ホームページの構成要素のみに限定するものではない。
 - (ウ) ドメインの移管及び再構築作業にあたっては、委託者、受託者及び現受託事業者とで協議・調整を十分に行う。
- (2) ウェブアクセシビリティ対応
 - (ア) 多様な利用環境を想定し、高齢者や障がい者を含めたすべての利用者が支障なく利用できるようにするために、ウェブアクセシビリティに関する日本産業規格「JIS X 8341-3:2016」のレベルAAに準拠すること。

- (イ) 委託者から提供されたコンテンツ等をレベル AA に準拠させるために必要な加工は、受託者において行うこと。
- (ウ) 受託者において JIS X 8341-3:2016 及びウェブアクセシビリティ基盤委員会の示す「JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン」に基づく試験を実施し、適用する達成基準の要件を満たすことを確認すること。
- (エ) ウェブアクセシビリティ方針及び同試験結果をホームページ上で公開すること。
- (3) デザイン・レイアウト
 - (ア) (2) のウェブアクセシビリティへの対応に際し必要に応じてデザイン・レイアウトも含め再構築すること。また、全体のデザインも統一性をもたせるため、これに倣い再構築すること。
 - (イ) 必要な情報（文字、画像等）は、原則として公開ホームページから入手するか、委託者から提供されたものを使用する。ただし受託者が別途作成することや新たに撮影することを禁止するものではない。
 - (ウ) 幅広い年齢層が魅力的と感じるようなレイアウトとなるよう工夫を施すこと。
 - (エ) 閲覧者の視点に立って情報を分類し、探しやすいサイト構成を目指すこと。
 - (オ) 閲覧者の利便性を重視した使いやすいナビゲーションを配置し、求める情報まで快適にたどりつけるようにすること。
 - (カ) ナビゲーションのレイアウトは、各ページにおいても統一性をもたせること。
 - (キ) サイト内検索機能を強化し、的確な検索結果が表示されるようにすること。
- (4) 新たに追加する機能
 - (ア) 装飾古墳館並びに鞠智城・温故創生館（以下、「館」という。）へ来館できない閲覧者がホームページ上で来館を疑似体験できるような機能
 - (イ) 絵柄データ等の利用について、申込フォームの送信後にダウンロードが可能となる機能。
 - (ウ) 装飾古墳館と鞠智城がそれぞれ所有している収蔵品の画像データを検索できるギャラリー機能
 - (エ) 装飾古墳館と鞠智城、それぞれ別にアクセス数のカウントができるようにすること。
- (5) 外部リンクの充実化
関係機関とのウェブサイト、SNS とのリンクページを充実させること。
- (6) マルチデバイス対応
 - (ア) スマートフォンやタブレット端末等（フィーチャーフォンを除く）のデバイスでも情報をスムーズに取得できるよう、デバイスに応じてホームページの表示を最適化する仕組みを取り入れること。
 - (イ) パソコン向けのコンテンツ作成と同時に、スマートフォン・タブレット等に表示するページが自動生成され、一元管理できること。
- (7) 対応ブラウザ
 - (ア) パソコン：Microsoft Edge、Firefox、Safari、Google Chrome 各最新版
 - (イ) スマートフォン：iPhone 及び Android の標準ブラウザ 各最新版
 - (ウ) タブレット端末：iPad 及び Android タブレットの標準ブラウザ 各最新版
- (8) セキュリティ
データを適切に管理するとともに、TLS 等によるデータの常時暗号化技術を使用し、なりすましや情報の改ざんなどの外部からの攻撃や、データの漏えいなどのセキュリティリスクにも対応した安全なシステムを構築すること。

(9) 職員によるコンテンツの管理・更新

(ア) 職員が容易にコンテンツの作成、更新、管理等ができるようにすること。

・ウェブアクセシビリティに対応した更新、管理等ができる。

・1件につき1メガバイト程度のデータが添付できる。

(イ) コンテンツの管理・更新に必要なアカウント数は、3（総務課、学芸課、文化財整備交流課）程度とする。

(ウ) 職員がユーザIDとパスワードでログインできること。

(エ) 専用ソフトウェアのインストールが不要であること。

6 ホームページの運用環境の要件

(1) データセンター・レンタルサーバー要件

(ア) データセンターもしくはレンタルサービス等を利用し、インターネットに接続されたウェブサーバー機器等を提供すること。

(イ) ウェブサーバーは、保守・障害対応時を除き24時間365日稼働を原則とする。

(ウ) 安全性、安定性及び拡張性が確保されたシステム構成と運用体制となっていること。

(エ) セキュリティが確保された安全な保守・運用サービスを提供すること。

(オ) 予想される最大アクセス件数（2,000件/日）においても快適に動作すること。

(2) バックアップ

コンテンツデータは、1日1回バックアップを実施すること。

7 マニュアルの作成

(ア) CMSの操作方法についてシステム管理者向けの「運用マニュアル」及びホームページ操作担当者向けの「操作マニュアル」を作成すること。

(イ) 必須項目の入力や適切でない表現を記載させない等、ウェブアクセシビリティを意識した操作説明を記載すること。

8 操作研修の実施

(ア) システム管理者及びホームページ操作担当者（総務課、学芸課、文化財整備交流課）を対象に、システムの運営・操作等について研修を実施すること。

(イ) 研修は本ホームページ公開前に実施し、資料は受託者において準備すること。

9 成果品

(1) ホームページ設計書 1部（紙媒体及び電子媒体）

(2) 運用・操作マニュアル 1部（紙媒体及び電子媒体）

(3) 本ホームページプログラム一式（電子媒体）

(4) ウェブアクセシビリティ検証方法及び結果報告書 1部（紙媒体及び電子媒体）

(5) 業務完了報告書 1部（紙媒体）

10 特記事項

- (ア) 委託者は、業務の実施にあたり、受託者が必要とする資料や情報等の提供について、支障のない範囲で協力する。
- (イ) 受託者は、本業務の実施にあたり、委託者と十分な打合せを行うとともに、作業の進捗状況を定期的に報告するものとする。
- (ウ) 再構築にあたっては、提案内容を基に委託者と協議のうえ、詳細仕様を決定するものとする。
- (エ) 事業の実施について、課題や問題点に係る対応については、委託者と十分協議すること。
- (オ) 開発に必要な機器及び使用材料等は受託者にて準備すること。
- (カ) デジタル素材について、受託者が本業務にて制作した素材の著作権は、熊本県に帰属するものとし、熊本県が広報上必要なものに利用することができるものとする。
ただし、受託者が受託前から権利を有する知的財産権については、この限りではない。
- (キ) 原則として、本業務の全部又は一部を第三者に再委託してはならない。ただし、あらかじめ当該委託作業を完全に履行するために関与するすべての委託先を特定し、再委託の内容、それに含まれる情報等を記載した書面により委託者へ提出し、承諾を得た場合はこの限りではない。